

3 結果の詳細

3.1 教科に関する調査

3.1.1 国語

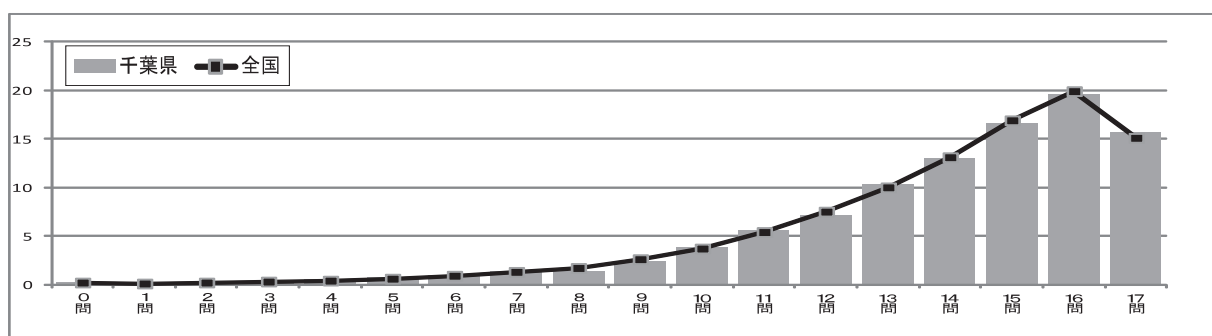
3.1.1.1 小学校

ア 全体的な結果

(ア) 正答数の分布

国語 A	平均正答数	平均正答率の95% 信頼区間	中央値	標準偏差
千葉県(公立)	13.9問 / 17問	80.9 — 82.3%	15.0問	2.9
全 国(公立)	13.9問 / 17問	81.4 — 81.7%	15.0問	2.9

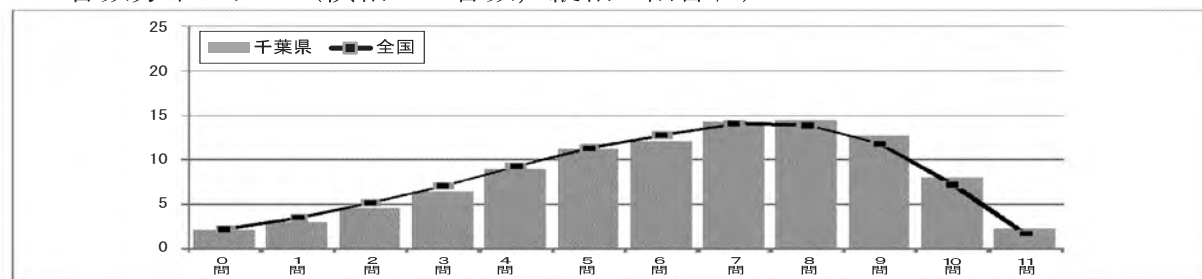
正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合％）



国語Aの正答数の分布は，ほぼ全国と同程度である。満点は全国よりやや多い。

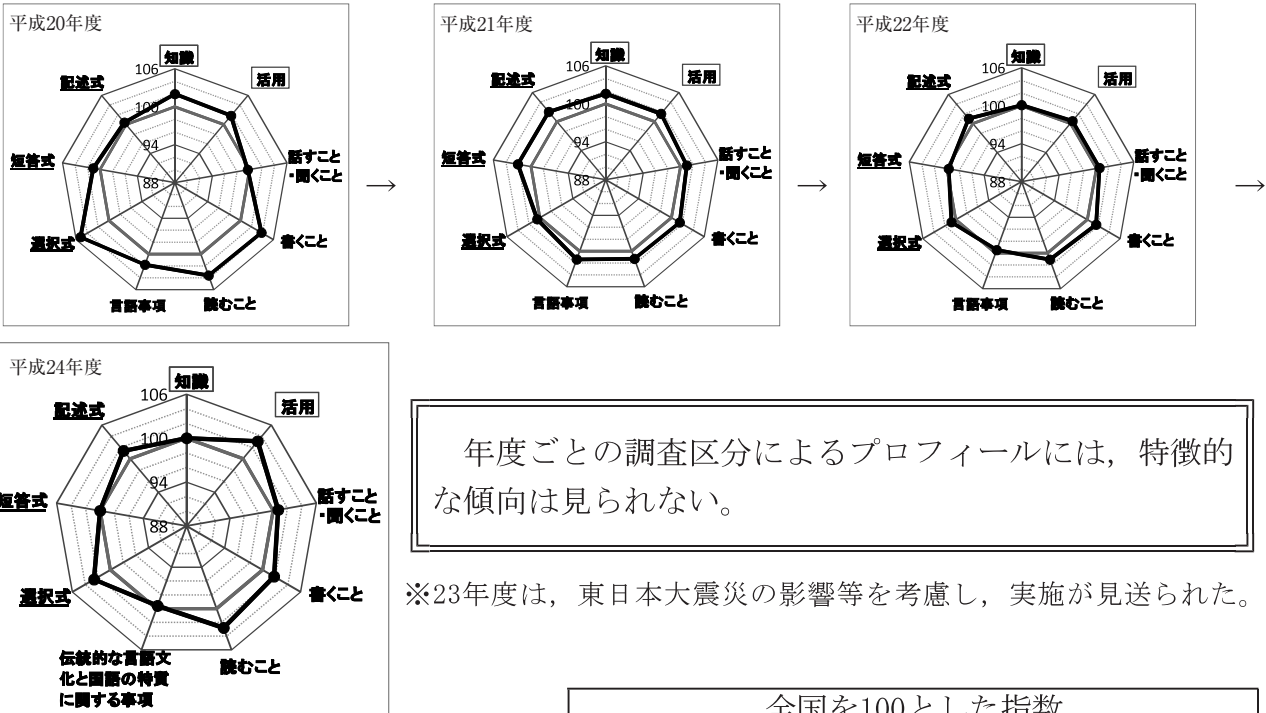
国語 B	平均正答数	平均正答率の95% 信頼区間	中央値	標準偏差
千葉県(公立)	6.3問 / 11問	56.4 — 58.3%	7.0問	2.6
全 国(公立)	6.1問 / 11問	55.4 — 55.8%	6.0問	2.6

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合％）



国語Bの平均正答数は全国をやや上回り，中央値は全国より1.0高い。正答数の分布は，7問以上の上位層が全国より3.1ポイント多く，下位層は全国より少なくなっており，全体的には全国より右寄りになっている。

(イ) 調査区分ごとに見た傾向（全国平均（公立）を100とする）



		全国を100とした指数			
分類	区分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成24年度
知識／活用	知識	102.0	101.6	100.1	100.0
	活用	101.8	101.6	100.5	103.1
領域	話すこと・聞くこと	99.7	101.0	100.5	100.7
	書くこと	103.8	101.5	101.6	101.8
	読むこと	103.6	101.3	101.1	102.8
	言語事項／伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	101.8	101.4	99.5	99.6
問題形式	選択式	105.2	100.5	100.8	102.6
	短答式	101.1	102.1	99.7	100.0
	記述式	100.4	102.0	101.0	101.4

【知識／活用】

- 「知識」は、21年度までは全国を上回ったが、22年度以降は全国と同程度である。
- 「活用」は、22年度のみ全国と同程度で、他は全国を上回っている。

【領域】

- 「話すこと・聞くこと」は、21年度は全国を上回ったが他は全国と同程度である。
- 「書くこと」「読むこと」は、いずれの年度でも全国を上回っている。
- 「言語事項」は、21年度までは全国を上回ったが、22年度は全国と同程度であり、24年度「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」も全国と同程度である。

【問題形式】

- 「選択式」は、20、24年度は全国を上回った。
- 「短答式」は、21年度までは全国を上回った。
- 「記述式」は、21年度以降全国を上回っている。

イ 各設問の結果

(ア) 良好であるもの

＜国語Ａ＞【正答率が80%以上または全国比+3ポイント以上の設問】

設問番号	出題の趣旨	千葉	全国比
1ー(1)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む (新しいビルを <u>建築</u> する)	91.2	+1.9
1ー(2)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む (親から <u>独立</u> してくらす)	90.1	-2.0
1ー(3)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む (参加することを <u>許</u> す)	96.4	+1.2
1二(1)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く (病院で <u>いしゃ</u> にみてもらう)	80.6	-2.5
1二(2)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く (東から <u>たいよう</u> がのぼる)	82.1	-0.7
1二(3)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く (白い <u>ぬの</u> を青くそめる)	87.0	-3.5
3ア	目的に応じ、収集した情報を関係付けながら話し合う	92.5	±0
3イ		81.8	+1.4
5ア	百科事典を読み、目的に応じて中心となる内容を捉える	90.8	-0.3
5イ		92.0	-0.2
8	日常生活で使われている慣用句の意味を正しく理解する	81.8	+2.1
9一	学年別漢字配当表に示されている漢字を筆順に従って正しく書く(<u>曳</u>)	83.6	+0.9
9二	学年別漢字配当表に示されている漢字を筆順に従って正しく書く(<u>赤</u>)	80.8	-0.6

※全国比+3ポイント以上の設問は無し。

＜国語Ｂ＞【正答率が70%以上または全国比+3ポイント以上の設問】

設問番号	出題の趣旨	千葉	全国比
2一	司会として収集した情報を捉え、まとまりごとに整理する	86.1	+1.8
3一ア	目的に応じ、雑誌や読んだ記事の特徴を捉える	88.7	+1.4
3二	編集者の意図を捉える	55.0	+4.0
3三	目的に応じ、記事を結び付けながら読む	62.8	+5.2

(イ) 課題があるもの

【正答率50%以下，全国比－3ポイント以下，無解答率10%以上の設問】

＜国語A＞		正答率		無解答率	
設問番号	出題の趣旨	千葉	全国比	千葉	全国比
1 二(3)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く (白いぬのを青くそめる)	87.0	－3.5	4.9	＋0.7
7	目的や意図に応じ，必要となる事柄を整理して簡潔に書く	44.4	＋1.2	6.9	－0.6

※無解答率が10%以上の設問は無し。

＜国語B＞		正答率		無解答率	
設問番号	出題の趣旨	千葉	全国比	千葉	全国比
1 三	手紙の構成を理解し，後付けを書く	24.6	＋1.1	1.9	－0.2
2 二	資料を読み取った上で，質問をしたい内容を明確にして発表する	51.8	－0.8	15.4	＋0.9
3 一イ	目的に応じ，雑誌や読んだ記事の特徴を捉える	47.5	＋2.5	8.2	－0.8
3 四	複数の記事を結び付けながら読み，事実を基にして自分の考えをもつ	39.9	＋2.2	15.7	－1.3

※全国比－3ポイント以下の設問は無し。

ウ 質問紙調査に見られる特徴

☐ 当てはまる ☐ どちらかといえば，当てはまる
☒ どちらかといえば，当てはまらない ☒ 当てはまらない

【肯定的な回答で全国との差が±1ポイント以上のものをゴシックで示した】

質問番号	質問内容		千葉	全国	差
4 5	国語の勉強は好きですか	肯定	66.3 ○26.9 △39.4	63.0 ○25.3 △37.7	＋3.3
		否定	33.5 ▲23.3 ●10.2	36.8 ▲24.8 ●12.0	－3.3
4 6	国語の勉強は大切だと思いますか	肯定	92.6 ○64.9 △27.7	92.6 ○66.2 △26.4	±0
		否定	7.2 ▲5.2 ●2.0	7.3 ▲5.3 ●2.0	－0.1
4 7	国語の授業の内容はよく分かりますか	肯定	83.3 ○36.8 △46.5	83.1 ○37.2 △45.9	＋0.2
		否定	16.6 ▲13.3 ●3.3	16.7 ▲13.1 ●3.6	－0.1
4 8	読書は好きですか	肯定	73.7 ○49.6 △24.1	72.6 ○47.7 △24.9	＋1.1
		否定	26.2 ▲15.9 ●10.3	27.3 ▲16.4 ●10.9	－1.1

質問番号	質問内容		千葉	全国	差
49	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	肯定	88.3 ○54.7 △33.6	88.9 ○55.7 △33.2	-0.6
		否定	11.5 ▲8.7 ●2.8	11.0 ▲8.5 ●2.5	+0.5
50	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	肯定	63.0 ○19.3 △43.7	61.3 ○19.1 △42.2	+1.7
		否定	36.8 ▲29.7 ●7.1	38.6 ▲30.8 ●7.8	-1.8
51	国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	肯定	57.8 ○17.5 △40.3	58.6 ○18.6 △40.0	-0.8
		否定	41.9 ▲32.1 ●9.8	41.3 ▲31.6 ●9.7	+0.6
52	国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いていますか	肯定	70.4 ○27.9 △42.5	71.3 ○29.2 △42.1	-0.9
		否定	29.3 ▲23.2 ●6.1	28.5 ▲22.6 ●5.9	+0.8
53	国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいますか	肯定	74.1 ○32.2 △41.9	75.1 ○33.6 △41.5	-1.0
		否定	25.7 ▲20.0 ●5.7	24.7 ▲19.2 ●5.5	+1.0
54	国語B-3の問題にあるような、長い文章を読むことは難しかったですか	肯定	45.7 ○19.8 △25.9	48.4 ○21.8 △26.6	-2.7
		否定	54.0 ▲26.7 ●27.3	51.4 ▲25.7 ●25.7	+2.6
55	今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか	1	74.2	74.3	-0.1
		2	22.9	22.9	±0
		3	2.2	2.2	±0

55：1=すべての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した

2=書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中であきらめたりしたものがあつた

3=書く問題は全く解答しなかった

- 「国語の勉強は好きですか」「読書は好きですか」「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか」について、肯定的な回答が全国よりも多い。
- 「国語B-3の問題にあるような、長い文章を読むことは難しかったですか」について否定的な回答が全国よりも多く、長い文章を読むことに対する抵抗感は少ないと捉えることができる。
- 「国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいますか」について、否定的な回答が全国よりも多い。

エ 考察 ※〔 〕の中の記載は、設問または質問番号である。

全体的な状況	○基礎的・基本的な知識を正確に身に付けることにやや課題がある。 ○話したり聞いたり，書いたり，読んだりする目的や意図に応じ，複数の情報を関係付けて捉えることは良好であるが，条件に合わせながら自分の考えをまとめて記述したり発表したりすることに課題がある。
話すこと 聞くこと	○概ね良好であるが，資料を読み取った上で質問したい内容を明確にして発表することに課題が見られる。
書くこと	○目的や意図に応じ，必要となる事柄を整理して簡潔に書くことに課題が見られる〔A 7〕。 ○目的に応じ，文章の特徴を捉えたり，複数の文章を結び付けながら読み，事実を基にして自分の考えを書くことに課題が見られる〔B 3一イ，B 3四〕（ただし，全国比ではかなり良い）。
読むこと	○読書を好む者が多く，授業で資料を読んで自分の考えを持つことに肯定的で，長い文章を読むことに対する抵抗感も少なく〔4 8，5 0，5 4〕，目的に応じて中心となる内容を読み取ることは良好である〔B 3三〕。 ○段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読むことの意識が全国より低く〔5 3〕，目的に応じて文章の特徴を捉えたり，複数の文章に書かれている内容を結び付けたりしながら読むことに課題が見られる〔B 3一イ，B 3四〕。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○漢字の読み書きの正答率は良好であるが，全国と比べると読みで2ポイント低いものが一つあり〔A 1一(2)〕，書きは3問とも全て全国より低い。漢字の筆順について，全国より低いものがある〔A 9二〕。 ○手紙の書き方についての知識の定着に課題が見られる。

オ 対応策

（ア）指導改善のポイント

- 言語活動の基礎・基本となる漢字の読み書きについて，特に書きでは筆順に留意させながら指導を充実させる。
- 文章の構成に留意しながら読み，読みとったことを結び付けながら考えて書くことを指導する。

(イ) 指導改善のための資料等

○「ちばっ子チャレンジ100」

特に、「複数の情報を関連付ける問題」を、授業や朝自習、家庭学習等で活用していただきたい。

【問い】

田中さんは、どの道順を選べばよいでしょうか。A・B・Cの道順から一つ選んで、その記号をあとの文の□の中に書きましょう。そして、その道順を選ぶ理由を、道順の説明や田中さんが考えたことにふれながら、書き出しの文に続けて六十字以上、八十字以内にまとめて書きなさい。

【考えたこと】

田中さんは、午前八時十分に家を出る時に、次のことを考えました。

- ① 鈴木さんの家には、午前八時三十分までに来て欲しいと言われているが、予定時間の五分前には着きたい。
- ② 交通事故にあわないよう、自動車の通りの少ない道を通りたい。
- ③ 大きな荷物を自転車に積んでいる。
- ④ 朝の通勤時間帯である。

【道順の説明】

A (---) の道順
交通量が多く、朝の通勤時間帯には、なかなか道路を横断できない。交通量が少ないときは、自転車で15分で着く。

B (—) の道順
坂があり、大きな荷物を積んだ時には、自転車を押していかなければならない。荷物のないときには、自転車で15分で着く。

C (····) の道順
細い道で、交通量が少ない。自転車で15分で着く。

田中さんは、大きな荷物を自転車に積んで、友だちの鈴木さんの家に行くことになりました。鈴木さんの家に行く道順は、図のように三通りあります。

○『『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』

「読みとったことを結びつけながら考えて書く」ような思考・表現の力の育成に効果的である。

「図書委員会」の問題を使って、資料の読み取りや課題解決に向けた方策について話し合う。

アンケートの結果からどんなことが分かりますか。

- ・読書の好き嫌いはどうか。
- ・読書の時間はどうか。
- ・どんな言葉で表せばよいか。

どんなことを質問すれば原因を見つけられますか。

- ・原因を予想して質問を考える。
- ・分かりやすい聞き方を考える。

小学生の太郎さんは、図書委員となりました。姉の中学生の花子さんも中学校の図書委員となりました。二人で相談して、小・中学生の読書に関するアンケート調査をそれぞれ行うことにしました。……

「読書が好きだ」

(1) グラフからわかったことを2つ「図書委員会だより」の見出しに使えるよう□の中に短い言葉で書く。

(2) 中学生の読書の問題点を明確にし、それを追究するための質問を考える。

(平成18年度思考力調査問題より抜粋)

○「授業テクニカルアドバイス【小学校向け】～若手教員の声を集めた授業ガイド～」

漢字指導、読みの指導、作文の指導についてのアドバイスを掲載しているので、若手教員に利用してもらいたい。

○ 国立教育政策研究所教育課程研究センター『授業アイディア例』

今回の調査問題に即した授業改善アイディアが掲載されている。

指導の狙い

目的に応じて、雑誌の記事を効果的に読む。

課題の見られた問題の概要と結果

- B③
- 一 雑誌や記事の特徴の説明として適切なものを選択したり、取り出して書いたりする。
 - 二 編集者の意図を説明したものとして適切なものを選択する。
 - 三 目的に応じ、複数の記事を結び付けながら読もうとすると、該当する記事の見出しとして適切なものを選択する。
 - 四 二つの記事に書かれている内容を結び付けながら読み、理由となる事実を基にして自分の考えを記述する。
- イ 正答率：45.3 %
正答率：51.2 %
正答率：58.0 %
正答率：38.1 %

授業アイディア例

出題の趣旨を踏まえ単元化して指導する例

教材 ■平成24年度 B③

■各教科等の学習に関連する雑誌記事
(全5時間 対象：第5学年以上)

単元を貫く
言語活動

B③では、複数の記事を結び付けたり、編集者の意図を推論したりしながら、自分の考えをまとめることにつまずいているようですね。



教師

第一次
1時間

<主な学習活動>

- ① 雑誌の特徴（設問一）や読書経験、効果的な読み方について話し合った上で、学習課題「目的に応じて、雑誌の読み方を工夫しよう」を設定し、学習計画を立てる。

〔指導上の留意点〕

- 雑誌の刊行時期や頻度、目次などを基にし、その特徴を捉えるようにする。
…<関連：設問一>
- 第三次で取り上げる記事（各教科等の学習に関連する雑誌記事）を選んでおくようにする。

第二次
3時間

- ② B③（設問三・四）を基にし、目的に応じて、必要となる情報を取り出したり、複数の記事を関係付けたりしながら、互いの考えを発表し合う。
【設問三を用いる場合】
マラソンの距離やその由来について、友達に説明するための発表原稿を、100字以内で書く。（参照：右ページ）
【設問四を用いる場合】
日本の女子選手の世界的な活躍について、「マラソンの世界記録上位5人」と「日本人選手の記録」の二つの記事を用いて、100字以内で書く。

目的に応じて雑誌の読み方を工夫する

- B③の調査問題を活用し、雑誌には下記のA、B、Cなどの様々な読み方があることを理解できるようにする。

A 目的に応じて、必要となる情報を取り出したり、複数の記事を関係付けたりしながら、自分の考えをもつ。
…<関連：設問三・四>
・自分の課題を解決するという目的や、相手に分かりやすく伝えたいという目的のいずれをも重視し、情報を的確に捉える。

B 編集者の目的や意図、工夫について、自分の考えをもつ。
…<関連：設問二>
・「読者に興味をもって読んでほしい」、「読者に続けて読んでほしい」、「読者に分かりやすく伝えたい」といった編集者の目的や意図、工夫を捉える。

C 内容や編集の仕方について批判的に読み、自分の考えをもつ。
・編集者のものの見方や考え方について、共感したり、疑問に思ったりしたところを明確にする。
・自分が編集者だったら、どのような記事をどのように編集するかを考える。

第三次
1時間

- ⑤ 各自が収集した雑誌記事を基にし、第二次のそれぞれの読み方を活用しながら、自分の考えをまとめ、交流する。

- A、B、Cの全ての観点に触れることができるようにする。これらの観点を日常の読書活動においても活用することを促す。

留意点

小学校学習指導要領解説国語編では、「C 読むこと」の「イ 効果的な読み方に関する指導事項」において、様々なメディアとして新聞や雑誌を取り上げている。これらを効果的に読むには、比べ読み、速読、摘読、多読などの中から、目的に応じた読み方を選択し、活用することが重要である。なお、「B 書くこと」の言語活動例の〔第5学年及び第6学年〕において、「イ 自分の課題について調べ、意見を記述した文章や活動を報告した文章などを書いたり編集したりすること。」を設定している。このことを踏まえ、新聞や雑誌の特徴を活用しながら、目的や意図に応じて、読み手を意識した編集を工夫するような学習活動を展開できるようにする。

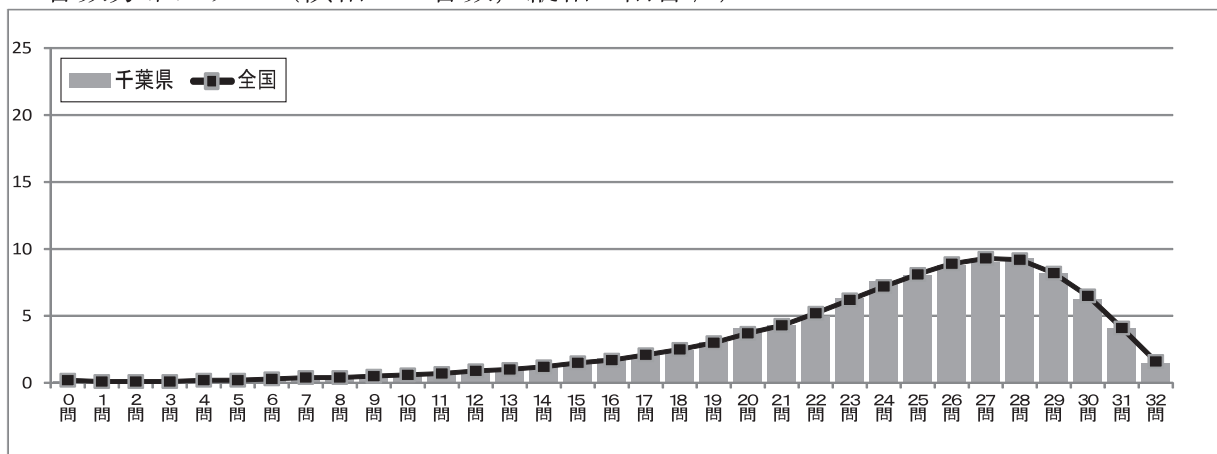
3.1.1.2 中学校

ア 全体的な結果

(ア) 正答数の分布

国語 A	平均正答数	平均正答率の95% 信頼区間	中央値	標準偏差
千葉県(公立)	24.0問 / 32問	74.3 — 75.5%	25.0問	5.5
全 国(公立)	24.0問 / 32問	75.0 — 75.2%	25.0問	5.5

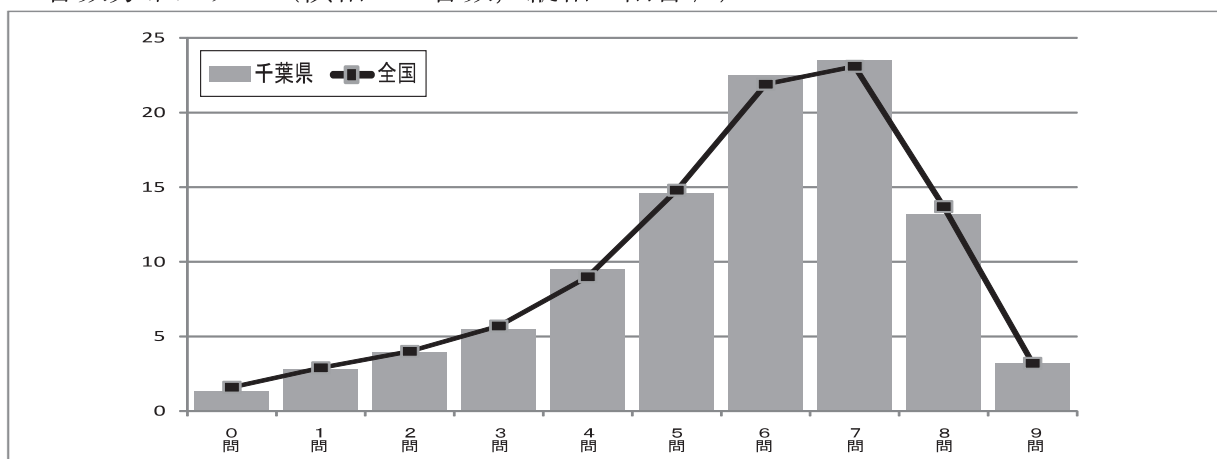
正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合％）



国語Aの正答数の分布は、ほぼ全国と同程度である。

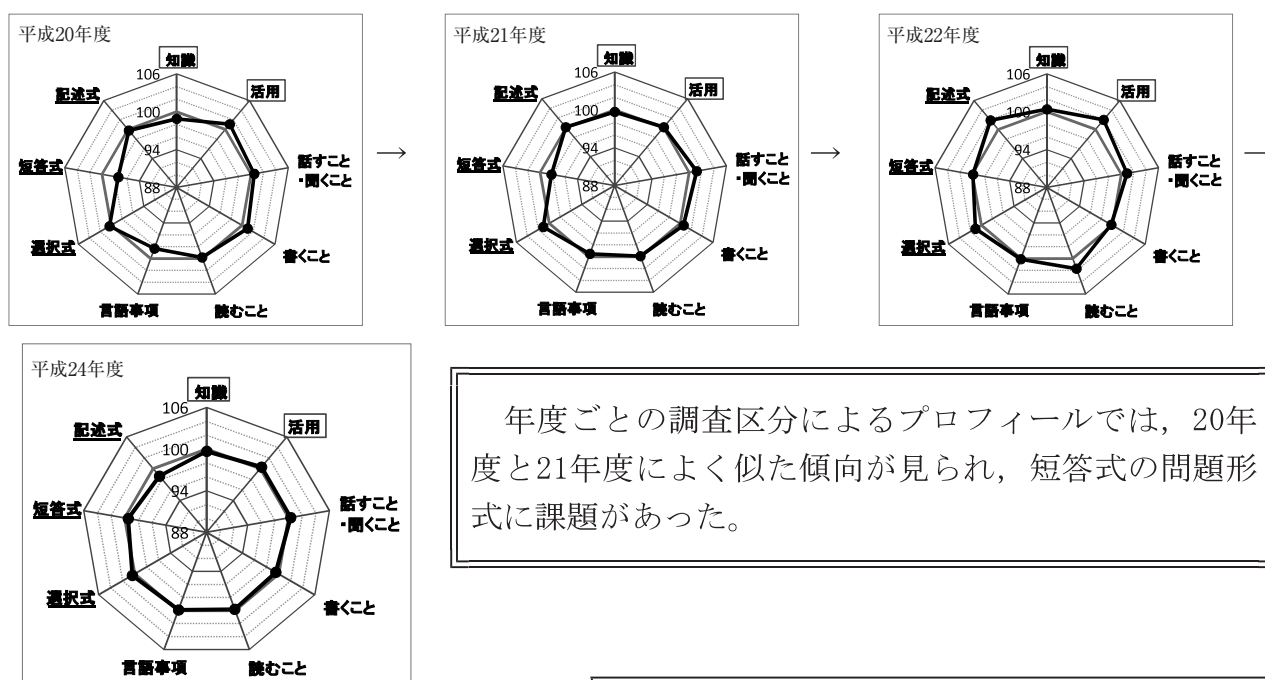
国語 B	平均正答数	平均正答率の95% 信頼区間	中央値	標準偏差
千葉県(公立)	5.7問 / 9問	62.9 — 64.2%	6.0問	1.9
全 国(公立)	5.7問 / 9問	63.2 — 63.4%	6.0問	2.0

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合％）



国語Bの正答数の分布は、6問と7問の中位層が全国より1ポイント多い。

(イ) 調査区分ごとに見た傾向（全国平均（公立）を100とする）



		全国を100とした指数			
分類	区分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成24年度
知識／活用	知識	98.9	99.7	100.4	99.7
	活用	101.1	100.1	102.0	100.3
領域	話すこと・聞くこと	100.5	101.2	100.9	100.3
	書くこと	101.0	100.6	99.8	99.5
	読むこと	99.8	99.9	101.7	99.8
	言語事項	98.3	99.5	100.1	99.9
問題形式	選択式	100.3	101.1	101.1	100.4
	短答式	97.4	98.2	99.9	99.5
	記述式	99.8	100.1	101.9	98.6

【知識／活用】

- 「知識」は、20年度は全国を下回ったが、21年度以降は全国と同程度である。
- 「活用」は、20、22年度は全国を上回った。

【領域】

- 「話すこと・聞くこと」は、21年度は全国を上回ったが他は全国と同程度である。
- 「書くこと」は、20年度は全国を上回ったが、21年度以降は全国と同程度である。
- 「読むこと」は、21年度は全国を上回ったが、他は全国と同程度である。
- 「言語事項」は、20年度は全国を下回ったが、21年度以降は全国と同程度である。

【問題形式】

- 「選択式」は、21、22年度は全国を上回った。
- 「短答式」は、21年度までは全国を下回ったが、22年度以降は全国と同程度である。
- 「記述式」は、21年度までは全国と同程度で、22年度は全国を上回ったが、24年度は全国を下回った。

イ 各設問の結果

(ア) 良好であるもの

<国語A> 【正答率が80%以上または全国比+3ポイント以上の設問】

設問番号	出題の趣旨	千葉	全国比
1 一	自分の話を聞き手に理解してもらえるように、資料を用いて話す	85.8	+0.4
1 二	間の取り方に注意して話す	85.7	+0.7
2 一	手紙の形式を理解して書く	86.3	-2.9
2 二	相手に応じて文章を書き直す	84.9	±0
3 一	比喩を手掛かりにしながら文脈をたどり、内容を理解する	86.4	+0.5
4 一	聞き手や場面を意識して、適切な語句を選択して話す	90.0	-0.1
5 一	伝えたい事柄を明確にして書く	91.1	+0.5
5 二	必要な情報が相手に伝わるように説明する	88.4	+0.6
7 一 2	文脈に即して漢字を正しく書く (メートルは長さの <u>タンイ</u> である)	84.6	-1.5
7 二 2	文脈に即して漢字を正しく読む (不純物が <u>沈殿</u> する)	86.1	+1.5
7 三 ア	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う (このカーテンの色は、部屋の雰囲気とよく <u>調和</u> している)	83.1	+0.5
7 三 イ	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う (先生が、私の家に <u>いらっしゃる</u>)	91.0	+2.0
7 三 オ	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う (<u>いかなる</u> 困難にもひるむことなく仕事を進めた)	94.5	+1.0
7 四 ア	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う (<u>受信</u>)	89.2	+1.7
7 六 1	ひらがなで表記された作品名をローマ字で書く (たけくらべ)	88.0	-0.8
7 六 2	ローマ字で表記された作品名を読み、ひらがなと漢字で正しく書く (Tosa <u>nikki</u>)	80.8	-1.1
7 七 2	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む (あらはす)	92.6	±0

※全国比+3ポイント以上の設問は無し。

＜国語B＞【正答率が70%以上または全国比+3ポイント以上の設問】

設問番号	出題の趣旨	千葉	全国比
1一	相手の話を踏まえて話す	80.3	+1.1
1二	話の展開に注意して聞く	81.7	+0.9
2一	文脈の中における語句の意味を捉える	84.6	+0.3
2二	効果的に伝わるように、内容や表現の仕方を工夫して書く	83.3	+0.8

※全国比+3ポイント以上の設問は無し。

(イ) 課題があるもの

【正答率50%以下、全国比-3ポイント以下、無解答率10%以上の設問】

＜国語A＞

設問番号	出題の趣旨	正答率		無解答率	
		千葉	全国比	千葉	全国比
3二	比喩という言葉と結び付けて、表現の仕方を理解する	36.4	-4.0	19.4	+1.1
4二	話し言葉と書き言葉との違いを理解し、適切に使う	49.3	+2.2	7.6	-0.1
6二	目的に応じて必要な情報を読み取る	41.1	+0.8	0.6	±0
7一1	文脈に即して漢字を正しく書く (地域の人をショウタイする)	50.3	-1.2	17.4	+2.7
7一3	文脈に即して漢字を正しく書く (鉛筆をカリる)	64.8	-4.5	6.2	+0.5
7二2	文脈に即して漢字を正しく読む (考えに相違がある)	64.7	+0.7	13.2	+0.7
7三エ	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う (たなびく雲の間から、春の光がもれている)	48.3	+1.4	0.8	+0.1
7八1	漢字の音読みと訓読みの説明として適切なものを選択する	67.0	-5.0	1.5	+0.2

＜国語B＞

設問番号	出題の趣旨	正答率		無解答率	
		千葉	全国比	千葉	全国比
1三	相手の発言を注意して聞き、自分の考えを書く (これからどのような言葉の使い方をしたいのかを具体的な言葉の例を挙げて書く)	18.4	-1.3	13.4	-0.5
3二	物語の場面の展開を捉える	34.5	+0.3	0.7	±0
3三	物語の内容や登場人物の言動の意味などを捉え、自分の考えを書く	58.6	+0.3	14.4	+0.8

※全国比-3ポイント以下の設問は無し。

ウ 質問紙調査に見られる特徴

○当てはまる △どちらかといえば、当てはまる
▲どちらかといえば、当てはまらない ●当てはまらない

【肯定的な回答で全国との差が±1ポイント以上のものをゴシックで示した】

質問番号	質 問 内 容		千葉	全国	差
4 5	国語の勉強は好きですか	肯定	6 0 . 6 ○22.2 △38.4	5 8 . 6 ○21.1 △37.5	+ 2 . 0
		否定	3 9 . 2 ▲27.9 ●11.3	4 1 . 3 ▲28.5 ●12.8	- 2 . 1
4 6	国語の勉強は大切だと思いますか	肯定	9 0 . 2 ○55.2 △35.0	9 0 . 3 ○55.4 △34.9	- 0 . 1
		否定	9 . 6 ▲6.8 ●2.8	9 . 5 ▲6.8 ●2.7	+ 0 . 1
4 7	国語の授業の内容はよく分かりますか	肯定	7 1 . 0 ○20.0 △51.0	7 1 . 2 ○20.2 △51.0	- 0 . 2
		否定	2 8 . 6 ▲23.0 ●5.6	2 8 . 5 ▲22.6 ●5.9	+ 0 . 1
4 8	読書は好きですか	肯定	7 4 . 3 ○49.4 △24.9	6 9 . 7 ○45.0 △24.7	+ 4 . 6
		否定	2 5 . 5 ▲15.6 ●9.9	3 0 . 0 ▲17.1 ●12.9	- 4 . 5
4 9	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	肯定	8 3 . 7 ○42.1 △41.6	8 3 . 1 ○41.9 △41.2	+ 0 . 6
		否定	1 6 . 0 ▲12.3 ●3.7	1 6 . 6 ▲12.6 ●4.0	- 0 . 6
5 0	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	肯定	5 0 . 8 ○12.2 △38.6	5 0 . 4 ○12.3 △38.1	+ 0 . 4
		否定	4 8 . 9 ▲38.3 ●10.6	4 9 . 4 ▲37.5 ●11.9	- 0 . 5
5 1	国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	肯定	4 6 . 9 ○10.6 △36.3	4 5 . 6 ○10.1 △35.5	+ 1 . 3
		否定	5 2 . 9 ▲40.3 ●12.6	5 4 . 2 ▲40.5 ●13.7	- 1 . 3
5 2	国語の授業で自分の考えを書くと、考えの理由が分かるように気をつけて書いていますか	肯定	6 1 . 0 ○17.3 △43.7	5 9 . 4 ○16.5 △42.9	+ 1 . 6
		否定	3 8 . 7 ▲30.7 ●8.0	4 0 . 4 ▲31.0 ●9.4	- 1 . 7
5 3	国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめりと共に内容を理解しながら読んでいますか	肯定	6 7 . 1 ○22.1 △45.0	6 5 . 6 ○20.9 △44.7	+ 1 . 5
		否定	3 2 . 7 ▲25.7 ●7.0	3 4 . 2 ▲26.4 ●7.8	- 1 . 5
5 4	国語B－1の問題にあるような、長い文章を読むことは難しかったですか	肯定	5 9 . 4 ○29.6 △29.8	6 1 . 1 ○30.9 △30.2	- 1 . 7
		否定	4 0 . 0 ▲21.7 ●18.3	3 8 . 4 ▲20.6 ●17.8	+ 1 . 6

質問番号	質 問 内 容		千葉	全国	差
55	今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか	1	69.4	70.6	-1.2
		2	25.0	24.0	+1.0
		3	4.8	4.6	+0.2

55：1=すべての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した

2=書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中であきらめたりしたものがあった

3=書く問題は全く解答しなかった

【小学校との比較で特徴的なもの】

質問番号 43 400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか

	小 学 校				中 学 校			
	千葉	全国	差		千葉	全国	差	
肯定	68.5 ○35.1 △33.4	67.7 ○35.0 △32.7	+0.8		69.6 ○35.7 △33.9	71.4 ○38.9 △32.5	-1.8	
否定	31.1 ▲19.8 ●11.3	32.0 ▲20.2 ●11.8	-0.9		29.9 ▲19.2 ●10.7	28.0 ▲18.0 ●10.0	+1.9	

- 「国語の勉強は好きですか」「読書は好きですか」「国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか」「国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いていますか」「国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいますか」について、肯定的な回答が全国よりも多い。
- 「国語B－1の問題にあるような、長い文章を読むことは難しかったですか」について否定的な回答が全国よりも多く、長い文章を読むことに対する抵抗感は少ない。
- 「今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか」について、否定的な回答が全国よりも多い。
- まとまった分量の文章を書くことについて、小学校では「難しい」と思う者が全国よりも多いが、中学校では全国よりも少なくなっている。

エ 考察

全体的な状況	○具体的な言語活動の中で、基礎的・基本的な知識・技能を適切に使うことに課題がある。 ○読書を好む者が多く、長い文章を読んだり書いたりすることは良好である。 ○目的に応じて必要な情報を読み取ったり聞き取ったりして、そのことに関連した自分の経験を基に考えを書くことに課題がある。
--------	---

話すこと 聞くこと	○概ね良好である。
--------------	---

書くこと	○まとまった分量の文章を書くことについて抵抗感は少なく〔4 3〕，伝えたい事柄を明確にして書くこと〔A 5 一〕は良好であるが，課題に対し経験を基にして自分の考えを書くこと〔B 1 三〕，物語の内容や登場人物の言動の意味などを捉えて自分の考えを書くこと〔B 3 三〕に課題が見られる。
読むこと	○読書を好む者が多く〔4 8〕，長い文章を読むことに対する抵抗感も少なく〔5 4〕，文章を読むことは概ね良好であるが，目的に応じて必要な情報を読み取ること〔A 6 二〕，物語の場面の展開を捉えること〔B 3 二〕に課題が見られる。
言語事項	○漢字の書きは，3問とも全て全国より低い。音読みと訓読みについての理解が，全国より5ポイント低い〔A 7 八 1〕。 ○比喩表現についての理解に課題が見られる〔A 3 二〕。 ○話し言葉と書き言葉との違いを理解し，適切に使うことに課題が見られる〔A 4 二〕。 ○語句の意味を理解し，文脈の中で適切に使うことに課題が見られる〔A 7 三エ〕。
小学校との比較	○基礎的・基本的な知識・技能について，小学校でやや弱い面があったが，中学校ではその傾向がさらに強くなっている。 ○「書くこと」について，小学校では，資料から読み取った<u>事実を基にして</u>自分の考えを書くことに課題が見られたが，中学校ではさらに，<u>経験を基にして</u>自分の考えを書くことに課題が見られるようになっている。

オ 対応策

（ア）指導改善のポイント

- 具体的な言語活動の中で，基礎的・基本的な知識・技能を適切に使うことの指導を行う。特に，漢字の読み書きについて，音読みと訓読みに関しての理解を十分に図った上で指導を充実させる。
- 会話や文章によって提示された内容に対して，経験を基にして自分の考えを書くことを指導する。

（イ）指導改善のための資料等

- 『「ちばのやる気」学習ガイド』評価問題

「ちばのやる気」学習ガイド国語3（「聞くこと」のステップチェック）より

目標⑤ 話し手の意見や考えを聞き，自分のものの見方を広げ，新たな考えを作り上げることができる。

(例題) ある高校の校長先生が卒業生に送ったメッセージを隣の人に読んでもらってメモをとり、メモをもとに新たに気づいたことや、改めて考えたり自分の考えを見つめ直したりしたことなどを盛り込んで、二百字程度で「失敗は成功の母」という言葉について自分の考えを書く。

○ 国立教育政策研究所教育課程研究センター『授業アイディア例』

今回の調査問題に即した授業改善アイディアが掲載されている。

指導の狙い

相手の発言を注意して聞き、自分の考えを話したりその考えを基に話し合ったりすることができるようにする。

課題の見られた問題の概要と結果

B①三 これからどのような言葉の使い方をしたいのかを具体的な言葉の例を挙げて書く。 正答率 20.6%

学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 A 話すこと・聞くこと

オ 話合いの話題や方向をとらえて的確に話したり、相手の発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめること。

〔第2学年〕 B 書くこと

ウ 事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書くこと。

授業アイディア例

学習の流れ

- ・ 対談で取り上げられている話題に対して自分の考えをもつ。
- ・ 対談を読み、自分と対談者の意見とを比較する。(第1時)

対談者の発言の内容を踏まえて、経験を根拠にして自分の考えを述べる。(第2時)

第2時までの学習を基に「現代の日本語は乱れているか」というテーマで、グループに分かれて座談会を行う。(第3時)

(言語活動) 対談を読んで考えたことを基に座談会を行う。

教材例

- ・ 「美しい日本語とは」
(平成24年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語B①)



第1時

- ① 「美しい日本語とは」をテーマにした対談を読む前に、そこで取り上げられている話題に対する自分の考えとその具体例などを記入する。

〔ワークシートの例〕

「美しい日本語とは」を読む前に

	あなたの考え	具体例・経験・根拠など
○ 現代の日本語は乱れていると思うか		
○ 下のような言葉遣いをどう思うか		
(1) ハーフクエスチョン		
(2) ら抜き言葉		
(3) 「ヤバイ」、「マジ」、「ウケる」		

- ② 対談を読んで自分の考えと比較し、自分の考えに近い発言とそうでない発言とに色分けして本文中に傍線を引く。

第2時

- ③ 対談の途中に入ったつもりで、対談の発言の内容に対する自分の考えを述べる。



教師

前回、色分けして傍線を引いた部分の対談者の発言を一箇所選んで、その発言に続けて実際に発言してみましょう。ワークシートにメモしたことを参考に発言するとよいですね。